

「市民が主役の魅力あるまつど」をテーマに、さまざまな角度から街の魅力をお伝えする市民活動特集として、今回は市民活動助成制度(市民活動特集4面参照)を活用して活動を行う団体を紹介します。

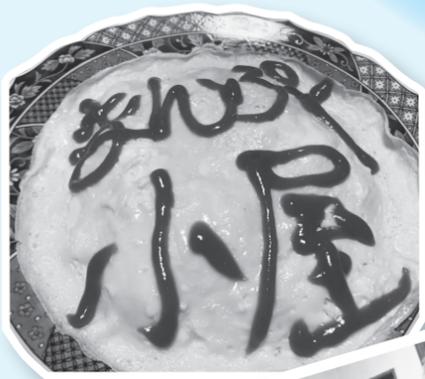
特集に関するお問い合わせ=市民自治課 ☎366-7062



あなたも **始めて** みませんか？

# 市民活動の ススメ

今回の市民活動特集では、松戸のまちを明るく元気にするための一歩を踏み出した人たちの声を紹介します！  
住みやすい地域づくりのため、そして自分の生きがいのために、あなたも活動を始めてみませんか？



## 市民活動とは

営利を目的とせず、社会的な課題の解決に向けて、市民が自発的に行う活動のことです。

活動を通して、多くの人たちが仲間との出会いや新たな気づき・学び、社会や誰かの役に立つことの充実感を得ています。

# 一緒に笑うとお客さんの手が温くなる

(左から)インタビューを受けてくださった吉川さん、砂永さん、寛さん



## 浅間台笑劇研究部

園同団体・神原 ☒ y-kambara@mx7.ttcn.ne.jp

2016(平成28)年に千葉県生涯大学校\*浅間台教室(以下、「生涯大学」)の卒業生と在生で設立した団体です。高齢者福祉施設などを訪問して、笑いを交えた楽しい演劇「笑劇」を披露。一緒に笑って元気になってもらう公演を行っています。

\*…高齢者を対象とした千葉県の学習機関

### — 活動を始めたきっかけは？

生涯大学の文化祭で出し物をする事になり、そこで同期のみんなと演劇をする事になりました。生涯大学の授業で、「笑いは健康のもと」という話を聞いたのを思い出し、皆さんに笑って楽しんでもらおうと、笑いを交えた「笑劇」の公演をする事になりました。

好評をいただいたので、もっと多くの人に披露したいと思い、高齢者福祉施設や町会の集まりなどで公演を行う事になりました。

### — 活動を始めて変わったことはありますか？

定年退職後のことを考えたときに、仕事が無くなったら何をすればいいのだろうと思い、生涯大学に通い始めたことがきっかけで、現在の笑劇の活動に至っています。地域のことを学び、実際に地域で活動するようになって、視野が広がり、いろいろなことに関心が持てる事になりました。

### — この活動の魅力は何ですか？

お客さんも演者も裏方もみんなが主役になれることが笑劇の魅力だと思います。

公演後はお客さんの表情が明るくなっていたり、一緒になって笑うことで手が温かくなっていたりして、とてもやりがいを感じています。

これまで演劇の経験がないこともあり、セリフを覚えたり、衣装を手作りしたり、苦労もありますが、みんなこの活動に参加することが楽しくて仕方ありません。この活動が私たちの生きがいになっています。

### — はじめの一步を踏み出すためには？

経験がなくても、興味があるならまずはやってみたらいいと思います。私たちも、とにかく自分たちが楽しんで活動するようにしています。無理せず楽しみながら、生きがいとなるような活動を見つけられればいいと思います。



福祉施設での公演の様子

# 子どもたちの成長 それがうれしい

## まんぷく小屋

園同団体・中村 ☎ 090-2223-7035、☒ manpukukoya@gmail.com

代表の中村さんの自宅で、小・中学生の学習支援と食堂を掛け合わせた子どもの居場所を目指しています。幼児の親子連れでの参加も歓迎しています。



(左から)インタビューを受けてくださった野崎さん、中村さん、上野さん

### — 活動を始めたきっかけは？

PTAの役員をやっていた時に、不登校や、さまざまな家庭環境に置かれた子どもの存在を目の当たりにしたことがきっかけです。

活動を始める前に、市内で子ども食堂を運営している方に相談をしたところ、「とりあえず無理のない範囲でやってみたらいいじゃない」と背中を押してもらい、アドバイスをもらいながら準備を進めました。



みんなで流しそうめんをやりました



### — この活動の魅力は何ですか？

勉強嫌だった子が自ら進んで学校の宿題をするようになるなど、子どもの成長を見られることが魅力です。

学校や先生が苦手だと言っていた子が、「まんぷく小屋」で勉強を教えてくれた先生のお別れ会に、自分のアルバイト代を使ってケーキを買ってきてくれたんです。自ら率先して先生に感謝の気持ちを伝えようと思った。そういった子どもたちの成長がすごくうれしいです。

### — 始めてみて感じたことはありますか？

まつど市民活動サポートセンターで行われるイベントに参加して、市内には数多くの市民活動があって、魅力的な人がたくさんいるんだと驚きました。

さまざまな団体とのつながりもでき、自分が知らなかった世界を知ることが面白く、松戸がより好きになりました。

### — はじめの一步を踏み出すためには？

実際に行動することでしか分からないことがあるので、とりあえずできることからやってみてはいかがでしょうか。

実際にやってみてダメだったら、かたちを変えて自分に合うやり方を探せばいいと思います。気負い過ぎずに、その時々で必要だと思うことを楽しんでやる。そういった気楽さをもってやっていけばいいと思います。



# 自分たちの音楽で 新しいつながりをつくりたい

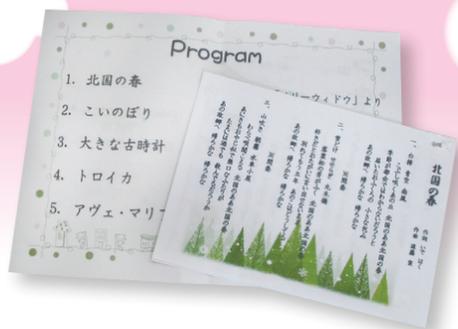
## アンサンブルポンテ Ensemble Ponte

同団体・城岡 ☎080-5541-4283、✉ponte.music@gmail.com

市民センターや福祉施設、保育園などで活動を行っている器楽アンサンブルグループです。参加者には歌声で参加してもらい、一緒に楽しむ“参加型”の演奏会を行っています。



Ensemble Ponteの皆さん  
(一番右はインタビューを受けてくださった城岡さん)



手作りの歌詞カードも好評です

積極的に声掛けをすることで、徐々に一緒に歌ってくれるようになります。参加者同士で顔見知りにもなったりと、つながりが生まれていることを少しずつ実感することができ、やりがいを感じています。

### — うれしかったことはありますか？

障がいがあり普段は外出しづらい方が、奥さんと一緒に足を運んでくださったことがありました。その際に「夫婦で一緒に外を歩くのなんて久しぶりだ」と喜んでいただけて、誰かの幸せを作れているんだということを実感することができ、この活動をしてよかったなと思いました。

### — はじめの一步を踏み出すためには？

想いをかたちにすることは簡単ではないと思います。ただ、「どんな目的があるのか」「自分自身が何を伝えたいのか」、その気持ちをずっと大切にしてほしいと思います。

自分以外の誰かの心が明るくなったり、温かくなったりする活動が増えてほしいですね。

### — 活動を始めたきっかけは？

メンバーは普段音楽関係の仕事をしています。その中で、クラシック音楽のコンサートは敷居が高いという印象を持たれている方が多いということに気づきました。自分たちの演奏でいろいろなジャンルの音楽を気軽に楽しめる場をつくらうと思い、この活動を始めました。

音楽を通じて人と人がつながる懸け橋になればうれしいですね。

### — どのようなことを心掛けて活動していますか？

温かさのあるコンサート作りを心がけ、参加者の皆さんに歌で演奏に参加してもらう時間を作っています。初めは恥ずかしそうにしている人も、



## あなたも市民活動を始めてみませんか？

### 思い立ったらまずは「サポセン」へ！

まつど市民活動サポートセンター（サポセン）は、市民活動を広げ、松戸をより暮らしやすい街にすることを目的とした施設です。

「地域で何かやりたいけれど何から始めたらいいの？」「どんな活動があるのか分からない…」 「誰に相談すればいいんだろう」そんな人はお気軽にご相談ください。サポセンにはさまざまな活動をしている団体の情報があり、幅広い相談対応ができるコーディネーターが常駐しています。

情報を見に来るだけでもよし、ちょっと立ち話で聞いてみるのもよし、じっくり相談するのもよし。ぜひ一度お越しください。

詳細はサポセンホームページをご覧ください。



市民活動は特別なことではなく、誰でもすぐに始められます。始めようと思ったら、まつど市民活動サポートセンターを思い出してください！

## まつど市民活動サポートセンター

所在地 上矢切 299の1 (総合福祉会館内)

アクセス 松戸駅西口から、京成バス1番乗り場「市川駅」行きで「浅間台」下車

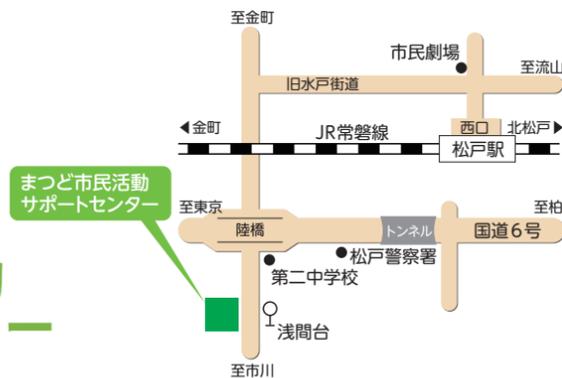
開館時間 月～土曜 9時～21時、日曜 9時～17時

休館日 第1・3水曜、年末年始

同センター ☎365-5522、FAX 365-5636、✉hai\_saposen@matsudo-sc.com



さまざまな講座やイベントを開催しています



同センターホームページ



## 市民活動をしているあなたに！その活動を応援します！

今回紹介した3団体は、「市民活動助成制度」を活用しています

### 市民活動助成制度とは？

市は、市民活動団体の夢・起業の夢・スポーツや文化活動などの分野でがんばる子どもたちの夢を応援するさまざまな取り組みをしています。

市民活動助成制度は、まちを明るく元気にする市民活動に必要な資金を一時的に助成する制度で、市民活動の活性化を図り、豊かな地域社会をつくることを目的としています。資金不足で活動を諦めていた人、活動をしているけれど資金不足で悩んでいる人、この制度を活用して想いを実現してみませんか。

### 2020(令和2)年度実施分 市民活動助成制度の事業を募集します

**受付期間** 8月1日(木)～9月30日(月) **対象の活動** 団体が行う公益性の高い市民活動(1団体 1事業)

**申請対象** 市内に事務所または活動場所があり、構成員が5人以上の市民活動団体

**助成内容** スタート助成(10万円以内)、ステップアップ助成(30万円以内)

※募集要項は市民自治課とまつど市民活動サポートセンターで配布する他、市ホームページでダウンロードできます。

#### 市民活動助成制度説明会

8月3日(土) 10時～11時 **会場** ゆうまつど

☎ 当日会場

☎ 市民自治課 ☎ 366-7062

#### まつど市民活動サポートセンター主催講座「助成金を活用して活動をステップアップするコツ」 **要申込**

9月8日(日) 13時30分～16時30分 **会場** 同センター **定員** 先着30人

☎ 電話またはEメールで同センター ☎ 365-5522、✉ hai\_saposen@matsudo-sc.comへ



市ホームページ



## 市民活動の応援をすることができます！

### 市民活動を寄附で応援しませんか



市が行う「市民活動助成制度」は、皆さんから寄せられた寄附金と、その同額の市費を積み立てた「協働のまちづくり基金」で成り立っています。市民活動の第一歩を踏み出した団体を、寄附で応援しませんか？皆さんの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

#### 寄附の方法

●市内に10台設置されている「チャリティー自動販売機」で飲み物を購入すると、その売り上げの一部が寄附されます。設置場所などの詳細は、市ホームページをご覧ください。

このパネルが目印です。



●協働のまちづくり基金に直接寄附することもできます。詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎ 市民自治課 ☎ 366-7062



市ホームページ

### チャリティー自動販売機を設置してみませんか？

チャリティー自動販売機は、自動販売機の設置者や飲料メーカーなどの協力により、売り上げの一部が協働のまちづくり基金に寄附される社会貢献型自動販売機です。個人でも設置することができ、既存の自動販売機を使ってもご協力いただくことが可能です。

#### 設置者にインタビューしました

金ケ作でクリーニング店「洗濯屋あべ」を営む阿部さんは、9年前から店頭でチャリティー自動販売機を設置しています。

#### —なぜ自動販売機を設置しようと思ったのですか？

町会の班長をやっていた頃、緑化活動をはじめとする地域のまちづくりに参加していました。その中で「他にも地域のためにできることはないか」という想いをなんとなく持つようになり、ただ、日中は働いているので、すぐに何かというのは難しい。そんな時に広報まつどでチャリティー自動販売機の記事を見かけて、「この形ならできる！」と思い、設置を決めました。

#### —設置してみてどうでしたか？

市ホームページや広報物にお店の名前が載るので、お客さんから「見たよ」と声をかけてもらうことがあり、うれしく思っています。お店に来たお客さんとの話のネタにもなるのでよかったです。

これからもこのチャリティー自動販売機を通じた寄附が、少しでも地域のために活かされればいいと思います。

#### 「チャリティー自動販売機」の設置事業者を募集しています

詳細は市ホームページをご覧ください。

☎ 市民自治課 ☎ 366-7062



市ホームページ

チャリティー自動販売機を設置していただいている「洗濯屋あべ」の阿部さん夫婦

